資料③-２

第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画
５年間の取組の総括

１　第三次計画の総括

地域福祉を取り巻く環境が変化する中、地域で支え合うための取組、相談支援、関係機関との連携などについて、一定の前進を図ることができた。

特に、行政や社会福祉協議会が福祉サービスを提供するだけでなく、地域の方々や関係団体とつながりながら、地域の困りごとを把握し、必要に応じて専門的な支援につなぐなど、「地域と行政・専門機関がつながって支える仕組み」を一歩ずつ整えることができた。

➡ 第三次計画全体としては、「概ね着実に進んだ」と整理

２　取組を通じて見えてきた課題

① 地域福祉を支える担い手の不足

➢地域活動を支える人材の確保・育成が課題

今後、地域の中で福祉を担う人材をどのように育て、活動につなげていくかが重要

② 複雑・複合化する課題への包括的な支援

➢複雑・複合化する課題に対応するため、相談支援体制のさらなる充実が必要

➢現在は総合相談機能が市役所に集中

市役所まで相談に来ることが難しい方や、自ら相談することが難しい方など、支援につながりにくい人をできるだけ少なくする取組が必要

➢地域、社会福祉協議会、関係機関等と連携し、身近なところから相談・支援につなぐ仕組みを整えていくことが重要

③ 新たな地域福祉課題への対応

➢今後の法改正を見据えた対応

➢身寄りのない高齢者への支援など、新たな課題への対応

３　第４次計画への継承

➢第三次計画の取組を通じて明らかとなった上記課題を、第４次計画に引き継ぎ、今後の地域福祉の取組につなげていく。

➢第三次計画で整えてきた「地域と行政・専門機関がつながって支える仕組み」を基盤として、地域の担い手づくりと、誰もが必要な支援につながることのできる包括的な支援体制の充実を進める。